

令和7年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	52	学校名	中津高等学校（全日制）
------	----	-----	-------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域や大学等と連携・協働し、グローバルな視点を培う高校として 一人一人の学びを尊重、支援し、主体的で深い学びを実践する教育活動を通して 思索を深め、自らを高め、地域に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	(1) 「自由と個人の尊厳」を指導の根底におき、生徒一人一人の個性を生かした自己実現の推進を図る。 (2) 「公共の精神」を醸成し、活力ある地域作りに貢献できるグローバルな視野を持った人材を育成する。 (3) 「正義を希求し、真理を愛する」精神を基に、自他を敬愛し、学問を探究する人間形成を図る。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・創造力と協働力を身に付け、敬愛心をもって、将来グローバルに活躍できる生徒 ・自己を理解する力を身に付け、自らすべきことを考え決断し、自分を律しながら行動できる生徒 ・幅広く質の高い教養を身に付け、ものごとを深く探究し、自分の考えを発信できる生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・自ら考え、論理的に自分の考えを発信できるよう、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業の推進 ・一人ひとりの学びを深め、自己実現につながるためのカリキュラム編成と、個に応じたキャリア支援の実施 ・地域や世界の抱える課題を考察・解決し、仲間と協力して新たなものを創造する力を育成する探究的な学びの推進	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・幅広い好奇心をもち、自分の考えを発信したり他者の意見に耳を傾けたりしながら、多様な学びに対し前向きに取り組もうとする生徒 ・自らの可能性を信じ、主体的に自分の進むべき道を見付け、それに向かって継続的に努力しようとする生徒 ・地域活動やボランティア活動、学校行事、部活動に意欲的に参加し、他者と協働して物事を成し遂げようとする生徒	
学校の抱える課題	・確認テスト（単元テスト）の運用の確立と地域への広報活動が必要である。 ・行事が多く、どの内容も濃いため、教員が時間外勤務時間が多い。 ・幅広い成績の生徒が入学し、多くの生徒の学習は量、質ともに未成熟である。 ・生徒自らが進んで学ぼうとする態度が十分に身に付いていない生徒がみられる。 ・学校生活の各場面で受動的な姿勢で取り組む生徒が多く感じられることから、自ら主体的に行動できる生徒の育成が重要である。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	・本校の魅力を高め、その魅力の広報活動を推進する。 ・教職員の勤務環境の改革に関する取組を推進する。	
	学習指導	・単位制教育課程の効果的運用や学校内外の課題に素早く対応する。 ・授業改善に努め、意欲的に取り組む態度を育て、確かな学力を育成する。	
	進路指導	・個々の生徒が自己を正しく理解し、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択・決定できるよう助言と支援に努める。 ・個々の生徒の特性を的確に把握し、望ましい職業観を育むとともに、適切な情報を提供し、計画的な進路（人生）設計の補助に努める。	
	生徒指導	・生徒一人一人をより深く理解すると共に、将来のリーダーとなりうる生徒の育成に努める。 ・自己有用感、自己肯定感を育めるように生徒個々の活動を支援する。	

領域 分野	年度目標			年度末評価(自己評価)			
	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	・生徒や教員にとって魅力のある学校づくりを推進し、 中学校生徒及び保護者や教職員、地域住民への広報活動 を積極的に行う。	施策IV-20	・体験入学、オープンスク ール等のアンケート結果				
	・長時間勤務の解消、ハラスメントとメンタル不調等 の速やかな察知と解決に向けた組織・体制づくりを取り 組む。	施策IV-27	・勤次郎やエントリーシー ト、ストレスチェックの結果				
	・職員会議等の機会を活用して、学校法規の内容や趣 旨をよく理解し、職務の遂行に専念するなどコンプラ イアンスの意識向上に努める。	施策IV-28	・管理職による面接 ・不祥事防止や情報セキュ リティ等各種のチェックシ ートの回答状況				
学習指導	・各教科・科目の基礎・基本が確実に身に付く「分か る授業」を行う。	施策IV-23	・生徒、保護者アンケートの 調査結果				
	・確認テストの導入により学力の定着を図り、生徒の 自主学習の充実を図る。	施策II-8	・生徒による授業評価を実施 し、満足度やコメントによる 評価				
	・探究学習、教科横断的学習を取り入れる等、授業改 善に努める。	施策IV-26					
進路指導	・意欲的に学習に取り組む態度を育成するため、 ICT・タブレットを活用した授業を行う。	施策II-9					
	・各学年の年間計画と支援目標を設定し、3年間を見 通した支援を行う。	施策II-13	・生徒、保護者アンケートの 調査結果				
	・生徒がより主体的に学問を探究する姿勢を養うた め、総合的な探究の時間の内容を充実させる。	施策I-4	・各種事業実施後のアンケ ート結果				
生徒指導	・保護者のための進路サポート勉強会を実施し、最新 の進路情報を提供し、進路相談の充実を図る。	施策I-7	・進路結果や生徒、保護者の 満足度				
	・インターシップなどの体験学習を推進する。	施策II-13					
	・互いに個性を尊重し「意欲的な学校生活」「安心で きる学校生活」を送れる生徒支援を推進する。	施策I-1	・生徒、保護者アンケートの 調査結果				
	・教育相談の充実、SCや相談員と連携、ほっとプレイ スの活用などにより、生徒に応じた支援を行う。	施策I-3	・迷惑調査など生徒へのアン ケートによる実態把握				
生徒指導	・時間や場所にふさわしい身なりや行動がとれ、価値 観の多様性を理解できるよう支援をする。	施策I-2	・諸活動参加者の感想、生徒 の実態を観察				
	・CCC活動を活性化し、地域と連携した自主的な生徒 会活動、委員会活動を展開する。	施策I-4					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日 学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日

--	--